

「2023 職場における腰痛予防宣言！」の事業報告(概要)



全国256施設が事業に取り組み、総勢7,308人の腰痛予防に貢献!

事業の趣旨

- ・我が国における業務上疾病の中では腰痛が最も多く、医療・介護職種を含む「保健衛生業」においても腰痛は80%以上にのぼり、予防的対策が急務である。
- ・本会では、理学療法士が自らの専門性を発揮し、全国の医療・介護現場の腰痛予防に貢献することを目的として、所属施設における腰痛予防に取り組む啓発事業を開始した。

I. 事業概要と達成施設数

全国900名以上の理学療法士が事業を運営 事業概要

○事業期間

・2023年10月2日～2024年2月29日

○事業対象

・約20,000施設(本会員所属施設)

○総参加者数

・7,308人

○運営に参加した理学療法士

・Mission2: 991名 Mission3: 660名

○認定施設数

- Champion Stage達成 51施設
- Mission3達成(金メダル) 100施設
- Mission2達成(銀メダル) 180施設
- Mission1達成(銅メダル) 256施設



今年度より “Champion stage”を新設

金メダル施設のうち希望確認のうえ、他施設からの腰痛予防活動要請に応じる窓口を本会ホームページに掲載し、所属施設外へ活動を拡大します。

II. 参加した職種: 7,308人の内訳

延べ10職種以上の 医療・介護職が事業参加

○看護師	2,923人(最大312人/施設)	○介護助手	95人(最大25人/施設)
○介護士	1,299人(最大81人/施設)	○事務職	841人(最大78人/施設)
○医師	158人(最大43人/施設)	○作業療法士	456人(最大40人/施設)
○看護助手	405人(最大58人/施設)	○言語聴覚士	182人(最大32名/施設)
		○薬剤師	119人(最大14人/施設)
		○栄養士	101人(最大16人/施設)
		○その他	729人(最大144人/施設)

III. 参加者の声

事業参加による効果・影響

事前に腰痛アンケートを実施した後に腰痛予防講習会をおこなった。職員のほとんどが腰痛予防に対する意識が低かった中、ボディメカニクスを活用した方法の指導や、福祉用具の使用方法を研修し、身体的負担の軽減を実感してもらえた。



施設A



施設B

既往に腰痛を持っている職員も多くおり、事業所で腰痛について情報を共有し、改善策を立てることで、職員自身の安心感や働きやすさにつながったとの意見が聞かれた。

感想

腰痛ならびに痛みは、誰もが抱える問題であり、その問題を通して職員と様々な意見交換やコミュニケーションが図れ、職場の雰囲気良くなることに繋がるのではないかと感じた。



理学療法士



理学療法士

認定証の贈呈があり、自分たちの活動が認められる達成感があった。

理学療法士の専門性を発揮し、労働者の腰痛に関する悩みに応えることは社会において意義のあることだと感じた。



理学療法士

IV. 事業総括と今後の展望

腰痛予防の取り組みの更なる展開へ!

- ・今年度は、全国256施設における900人以上の理学療法士が運営に参加し、看護師や介護士を中心とした7,308人の腰痛予防に寄与する取り組みが実施された。
- ・前年度と比較して、認定施設: 金71施設/銀144施設→金100施設/銀180施設、参加者数(理学療法士を除く): 6,472名→7,308名と全国的により多くの腰痛予防活動が実施された。
- ・本事業を通じて、医療・介護・福祉従事者の腰痛予防に取り組み、更に今後は理学療法士の所属しない施設や多種多様な労働者の腰痛予防を含む安全衛生に貢献していく。



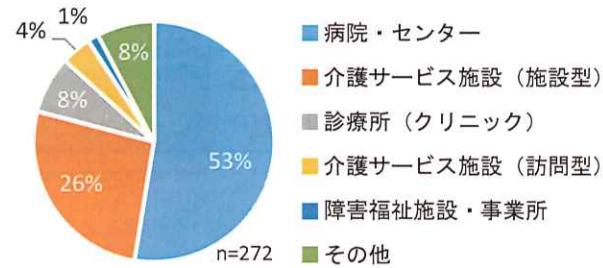
JPTA



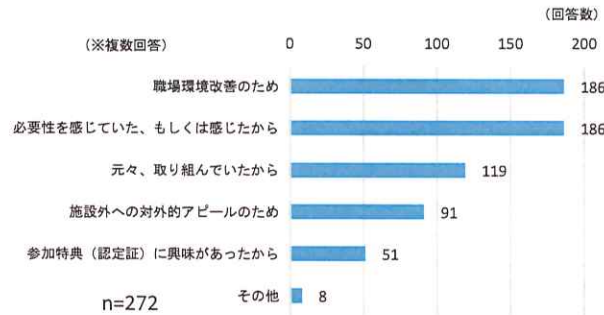
JPTAのHP内
本事業掲載ページ

「2023 職場における腰痛予防宣言！」の事業報告(集計一覧)

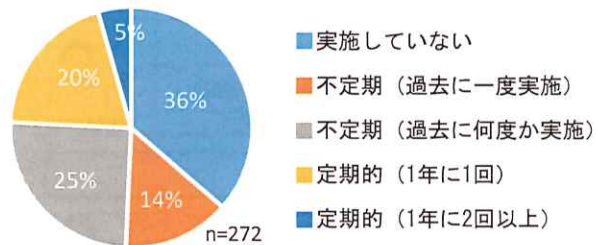
○施設形態



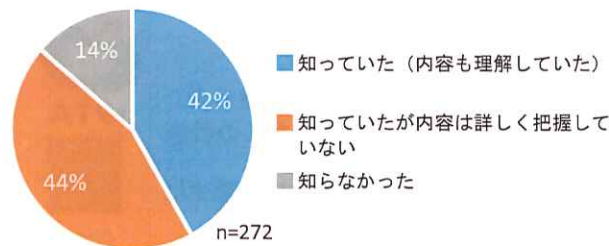
○事業に参加したきっかけ、動機



○過去3年の理学療法士が携わる腰痛予防対策の実施状況



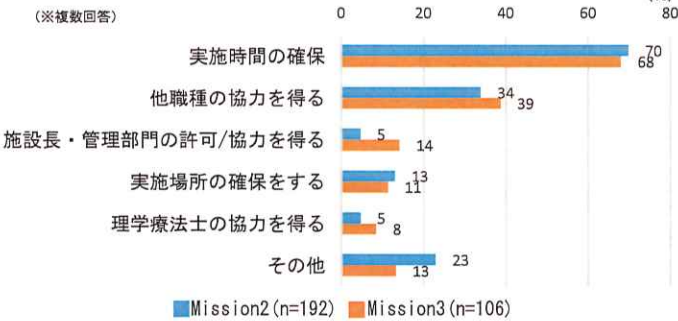
○実施以前から腰痛予防対策指針を知っていたか



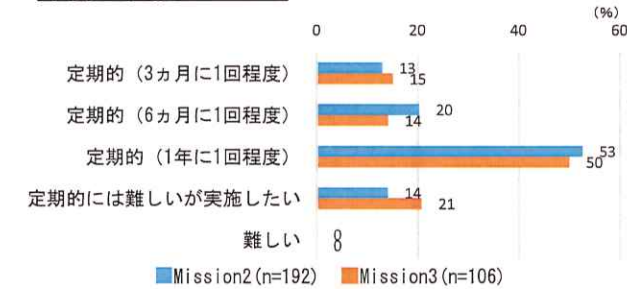
○講習会の実施方法



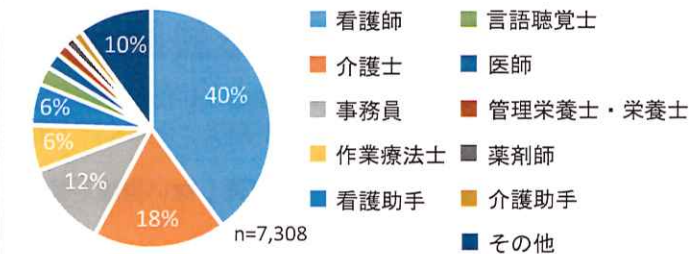
○実施の際に感じた課題・困難



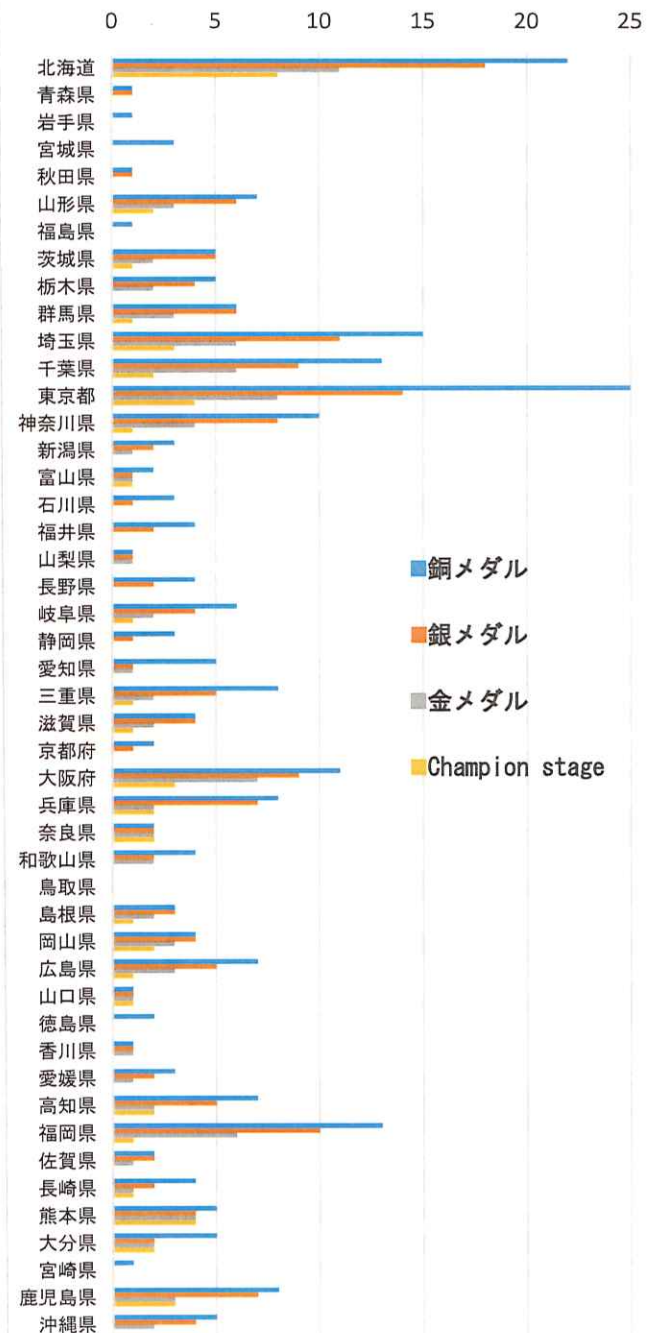
○今後の継続について



○参加職種と割合



○都道府県別



2023 職場における腰痛予防宣言！
 Champion stage 施設一覧
 外部施設からの腰痛予防事業の依頼窓口を掲載しています。

都道府県	施設名	担当部署	担当者名	連絡先 (メール)	連絡先 (電話番号)
北海道	リハビリジムプライズネス	トレーナー部門	成田 悟志	mail@prizenes.com	011-600-6048
北海道	札幌共立五輪橋病院	リハビリテーション科	大谷 睦	rehabili@gorinbashi.or.jp	011-571-8221
北海道	医療法人社団 こが病院	通所リハビリテーション デイクアほたる	田中 亮人	akito1173@gmail.com	0152-61-0101
北海道	さっぽろ厚別通整形外科	リハビリテーション科	石丸 司	tsukasa2174002@gmail.com	011-894-8879
北海道	さっぽろ西野二股整形外科	リハビリテーション部	石丸 司	tsukasa2174002@gmail.com	011-894-8879
北海道	医療法人社団履信会 さっぽろ下手稲通整形外科	リハビリテーション科	石丸 司	tsukasa2174002@gmail.com	011-894-8879
北海道	介護老人保健施設 ヴィルかいせい	リハビリテーション科	小嶋 陽介	y_ojima@hakuaikai.org	0155-37-7600
北海道	ホームケアクリニック麻生	リハビリテーション科	田澤達彦	t.tazawa@homecare.clinic	011-600-0381
山形県	やまがたコンディショニングルーム	やまがたコンディショニングルーム	佐藤 治	y.c@yamagata-cr.com	023-616-6600
山形県	社会医療法人みゆき会 みゆき会病院	リハビリセンター	黒田 昌宏	rihapt@miyuki.or.jp	023-672-8282
茨城県	つくば市福祉支援センターさくら	茨城県リハビリテーション専門職協会	松本慎也	s.matumoto@irpa.jp	070-4343-3748
群馬県	利根中央病院	リハビリテーション室	七五三木 史拓	rih-tone01@tonehoken.or.jp	—
埼玉県	武蔵台病院	リハビリテーション課	古山 つや子	t-koyama@musashidai-hp.com	042-982-5022
埼玉県	介護老人保健施設 日高の里	リハビリテーション課	古山 つや子	t-koyama@musashidai-hp.com	042-982-5022
埼玉県	メディカルデイツむぎ	メディカルデイツむぎ	吉澤 博之	tsumugi@syojukai.or.jp	04-2902-6811
千葉県	流山整形外科ペインクリニック	リハビリテーション科	鷹股 裕也	1212063@g.uhwa.ac.jp	090-1618-2979
千葉県	介護老人保健施設 船橋ケアセンター	リハビリテーション科	竹内 章朗	a_takeuchi@tmg.or.jp	047-449-7007
東京都	あきしま相互医院	リハビリテーション室	富森 賢	rehabili.akisou-hp@t-kenseikai.jp	042-500-2087
東京都	山中整形外科内科クリニック	リハビリテーション科	藤田 由貴子	yamanaka.reha@gmail.com	03-3335-5080
東京都	株式会社アロー	訪問リハビリ部門	北村 良平	info_rh@rh-arrow.com	03-5727-8444
東京都	訪問看護ステーション ワークスタッフ鶴の木	訪問看護	田中 千恵	chieta0304@gmail.com	03-5741-8239
神奈川県	川崎市南部リハビリテーションセンター	南部在宅支援室	大久保 圭子	nambuzaitaku@misasakai.or.jp	044-223-7387
富山県	入善老人保健施設こぶしの庭	リハビリテーション部	竹山 和宏	kobushi-riha@tyojyu.jp	0765-78-2500
岐阜県	特定医療法人 録三会 太田病院	医療技術部 病院リハビリテーション科	松岡 良祐	rehabili@ohta-hospital.jp	0574-26-1251
三重県	医療法人尚豊会 みたき総合病院	リハビリテーション科	横道 俊彦	riha@mitaki.or.jp	059-330-6000
滋賀県	近江草津徳洲会病院	リハビリテーション科	辻 貴幸	reha@oumi-kusatsu-hp.jp	077-516-2795
大阪府	医療法人貴島会 ダイナミックスポーツ医学研究所	法人部門	杉本 拓也 春名 了輔	haruna@dsmi.jp	06-6226-8846
大阪府	介護老人保健施設 栄公苑	リハビリテーション部	小川 智之	ot1f@sanokinen.jp	072-464-2666
大阪府	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会吹田 特別養護老人ホーム高寿園	医務室	芳尾 光太郎	koujuen@joy.ocn.ne.jp	06-6389-2751
兵庫県	神戸医療福祉専門学校三田校	理学療法士科	吉田 優也	y-yoshida@kmw.ac.jp	079-563-1222
兵庫県	神戸労災病院	中央リハビリテーション部	和中秀行 浅田史成	h.wanaka0531@gmail.com	078-231-5901
奈良県	やすらぎの杜優楽	リハビリテーション課	西田	yuuraku.rehabili@gmail.com	0743-76-3300
奈良県	医療法人鴻池会 秋津鴻池病院	リハビリテーション部	田川 綾	rehabili@kounoikekai.com	0745-63-0601
島根県	公立邑智病院	診療技術部リハビリテーション科	池本 祐貴	rehabili@ohchihospital.jp	0855-95-2111
岡山県	岡山労災病院	中央リハビリテーション部	坂口 知義	tomoyoshi0127@gmail.com	086-262-0131
岡山県	電操整形外科病院	リハビリテーション科	川口 直樹	n.kawaguchi@ryusou.jp	086-272-1112
広島県	株式会社cocolo あおい訪問看護ステーション	—	細井 俊希	hosoitoshiki@gmail.com	084-939-9790
山口県	周南リハビリテーション病院	リハビリテーション部	二見信次	rehabili@shunan-rh.jp	0834-83-3300
高知県	デイサービスセンター ウィークリハ	理学療法科	二宮 悠	week-reha@kochi-weeks.co.jp	088-821-9322
高知県	デイサービスセンター ウィークリハ 南はりまや1F	理学療法科	二宮 悠	week-reha-2-1@kochi-weeks.co.jp	088-856-8026
福岡県	甘木中央病院	リハビリテーション室	西浦 健蔵	rihabiri@amagichuuou-hp.jp	0946-22-5550
長崎県	重工記念長崎病院	リハビリテーション科	篠原 晶子	akiko_shinohara@jmnh.or.jp	095-801-5065
熊本県	朝日野総合病院	総合リハビリテーションセンター	大町 康一 内田 神奈	sunfit@asahino.or.jp	096-342-6075

熊本県	社会福祉法人真光会	特別養護老人ホーム三和荘	高瀬 直人	nolift39@gmail.com	096-329-6500
熊本県	熊本リハビリテーション病院	リハビリテーション部	古川 繁	shigeru19770204@gmail.com	096-232-3111
熊本県	阿蘇温泉病院	リハビリテーション科	三川 浩平	p_therapy@asospahp.jp	0967-32-5101
大分県	特定医療法人社団春日会 黒木記念病院	リハビリテーション部	山村哲仁	riha@kuroki-hp.or.jp	0977-67-1211
大分県	社会福祉法人安岐の郷 地域健康センター元気館	地域健康センター元気館 介護予防拠点事業部	宮本 一樹	akinosato.07@gmail.com	0978-67-3711
鹿児島県	公益財団法人慈愛会 今村総合病院	リハビリテーション部	松元 龍	noboru.matsumoto@jiaikai.jp	099-251-2221
鹿児島県	社会福祉法人 朋愛会	通所介護事業所 朋愛園	村場 弘卓	h.muraba@houaien.com	0994-41-2430
鹿児島県	菊野会 菊野病院	総合リハビリテーション部	矢山勉 前原浩紀	kikureha@kikunokai.org	0993-56-4562

2024 職場における腰痛予防宣言!

その腰は、 戦えるか。

働くあなたも アスリート

日本理学療法士協会は、業務上疾病としての腰痛撲滅を目指し、「2024職場における腰痛予防宣言!」キャンペーンを実施します。キャンペーンを通じた理学療法士の金・銀・銅のメダル授与の取組みにより、施設内外における腰痛予防に貢献していきます。



金メダル



銀メダル



銅メダル

※イラストはイメージです。実際の競技とは関係ありません。



公益社団法人
日本理学療法士協会
Japanese Physical Therapy Association



〈後援〉



ひと、暮らし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

2024年9月開始! 2024 職場における腰痛予防宣言!

— 理学療法士として職場の腰痛予防に貢献したいあなたへ — ぜひ、当事業に参加しませんか?
※本キャンペーンは会員の皆様による参加型の事業です。



2024職場における腰痛予防宣言とは?

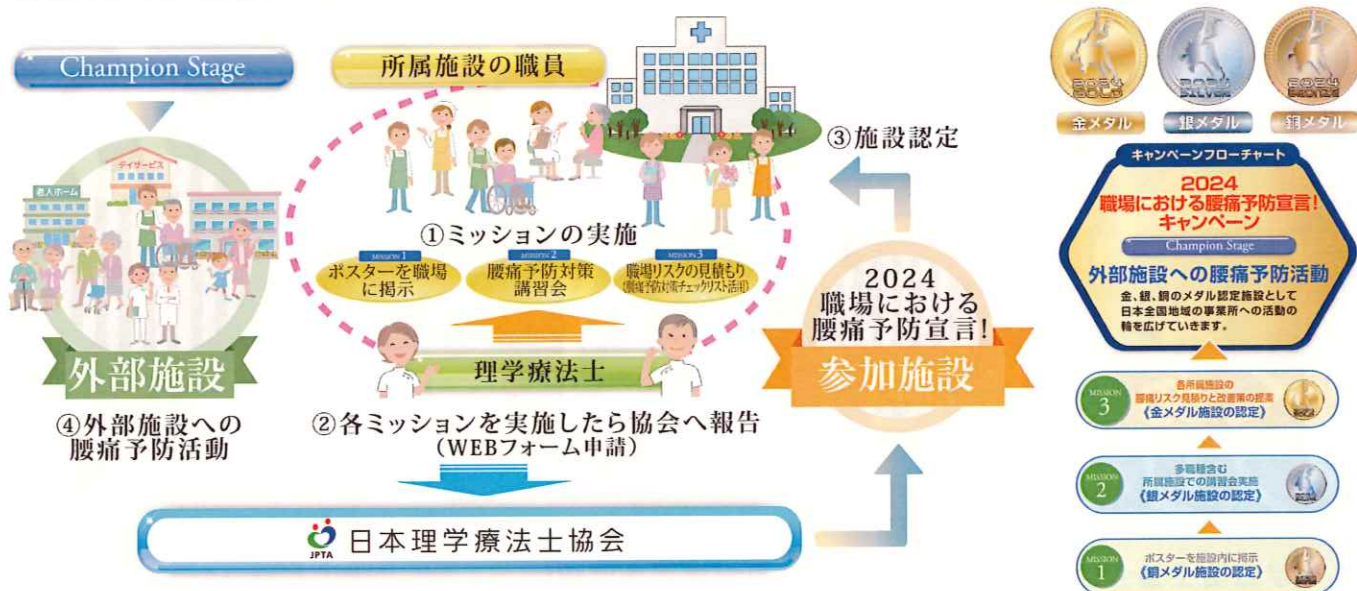
保健衛生業の業務上疾病で8割を占める「腰痛」。

少子高齢化社会において、労働者の人員確保・生産性の両面に影響を及ぼす腰痛への対策は急務です。日本理学療法士協会は、業務上疾病としての腰痛撲滅を目指し、「2024職場における腰痛予防宣言!」キャンペーンを実施しています。キャンペーンを通じた理学療法士の金・銀・銅の取組により、施設内外における腰痛予防に貢献していきます。

「2024職場における腰痛予防宣言!」に参加するには?

ご所属施設の代表者へJPTA NEWS 8月号に腰痛予防啓発ポスターをお送りしています。まずは届いているポスターについて、施設長の許可を得て施設内に掲示しましょう! また、このチラシをポスターの代用として掲示いただくことも可能です。
(※本キャンペーンは今年で4年目! 昨年度は全国256施設にご参加いただきました)

日本理学療法士協会は、業務上疾病としての腰痛撲滅を目指し、
本年も「2024職場における腰痛予防宣言!」キャンペーンを実施します。



公益社団法人
日本理学療法士協会
JPTA Japanese Physical Therapy Association



〈後援〉 厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

キャンペーン期間: 2024年9月2日(月)~2025年2月28日(金)
※事業の詳細はQRコードからご確認ください。

